A decorative background pattern consisting of vertical columns of various geometric shapes (circles, triangles, squares, pentagons) in shades of yellow, orange, and light blue, arranged in a repeating sequence.

# AINAVO HOLDINGS

## BUSINESS REPORT 2015

第61期

株主通信

2014年10月1日～2015年9月30日

[証券コード 7539]

## 株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

わが国の住宅業界は新設住宅着工戸数が減少し、厳しい事業環境が続いておりますが、当社は多様・高水準な住宅関連施工技術を有した他に類を見ない「総合専門工事施工企業」として、そうした中でも勝ち残ることのできる強固な業態作りを進めています。

そのための中心的な施策が積極的なM&Aです。

今年7月に発表いたしました東京サッシ販売(株)及び(株)ライフメタリックの孫会社化は、取扱商材の拡大と優秀な専門人材の確保によりグループ企業価値向上に大きく寄与するものと考えています。2013年に子会社化した(株)インテグロも含め、こうしたM&Aを今後も全国規模で展開し、業容および売上・利益の拡大を進めてまいります。

なお、当期は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により減益となったため1株当たり配当は28円から26円へ減配いたしました。早期に回復及びその更新を実現させてまいります。

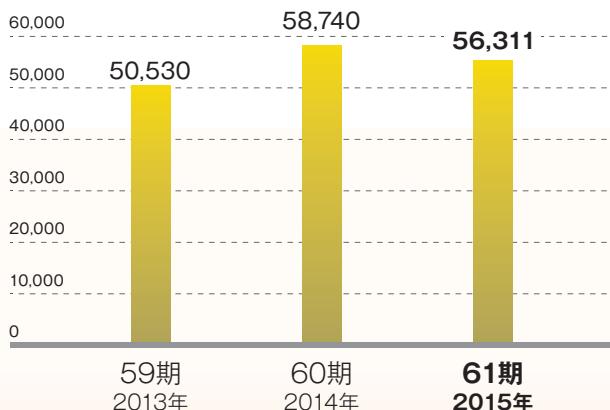
株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



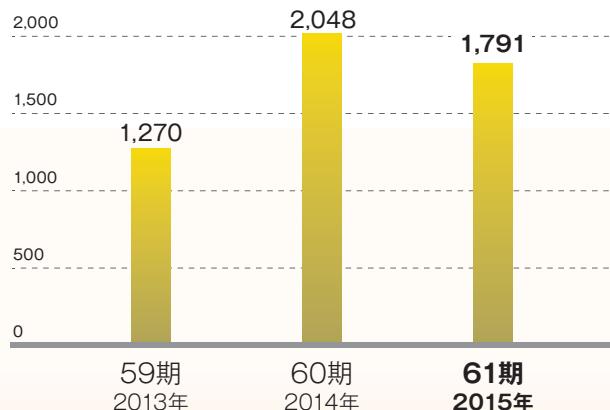
代表取締役社長 阿部 一成

## 〈連結ハイライト〉

### 売上高 (単位：百万円)



### 経常利益 (単位：百万円)



## 2015年9月期について

前年にあった消費税増税前の駆け込み需要の反動により大変厳しい1年でありました。4月以降は回復傾向も見られましたが、新設住宅着工戸数の減少は避けられず、トレンドとしても厳しい事業環境が続きました。

そうしたなか、当社では前期から引き続き、主に「取扱商材の拡大」と「新規顧客の開拓」に積極的に取り組みました。

既存商材においてはシンク、ユニットバスなど水回り製品や木質建材が当期も堅調でした。また、再生エネルギー固定価格買取制度が見直されたのに伴い産業用太陽光発電設備需要

が大きく縮小するなか、住宅用太陽光発電設備工事は堅調でした。

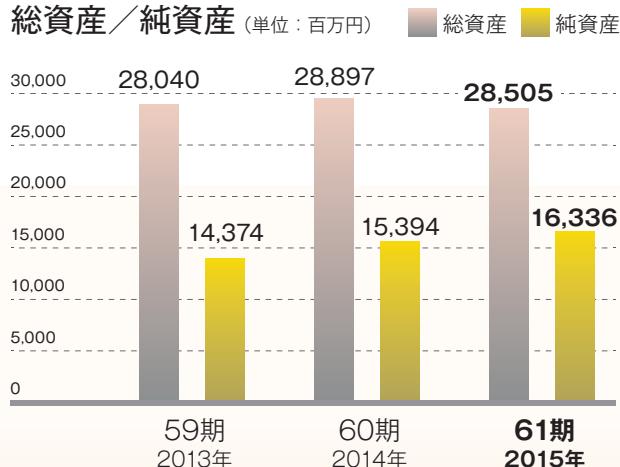
エネルギーを作り出すとともにエネルギーロス減らす「ゼロエネルギー住宅」の需要は各住宅メーカーにおいて着実に拡大しており、太陽光発電設備のみでなく、発電した電気をプールする蓄電池や屋内の熱を逃がさないサッシなども含め「ゼロエネルギー住宅」関連商材はこれからの有望なマーケットと位置付け、その取扱いに積極的に注力いたしました。

一方、自社ブランド製品の高級タイル「Maristo®」、高級浴槽「Artis®」は更なる

当期純利益 (単位：百万円)



総資産／純資産 (単位：百万円)





拡大を目指した営業体制の構築にやや手間取り、計画を下回りました。

「新規顧客の開拓」は大変順調で、当期も目標を大きく上回ることができました。市場の縮小が続くなか、新規顧客開拓こそが当社の生き残る道と考え、ここ数年は最も重要な営業方針の一つとして注力して参りましたが、現在では当社営業の基本行動として完全に浸透しており、私としても大変心強い限りです。

## 2016年9月期見通しについて

「新設住宅着工戸数80万戸割れ」の可能性が高まるなか、今期も厳しい事業環境を想定せざるを得ませんが、当社は自社の強みを活かした事業展開を進め、優位性を今まで以上に高めて参ります。

取扱い商材に関しては、太陽光発電設備、蓄電池、サッシなどゼロエネルギー住宅関連を始めとした好調・有望な製品を更に伸張させるとともに、前期計画を下回ったサイディングについては、課題である認知度の向上に取り組み、前期を上回る成果を追求します。

ゼロエネルギー住宅市場関連設備に関しては、高い施工能力が求められることはもちろんですが、屋外設備であるため経年劣化や関連したトラブルも避けられず、きめ細かく迅速なアフターケアが求められます。住宅メーカーやエンドユーザーからの信頼獲得が事業の拡大には不可欠であり、万全なアフターケア体制の構築にも注力いたします。

新規顧客開拓を含めたこれらの取り組みを推し進め、当2016年9月期は「売上高 615億円、営業利益 16億20百万円、経常利益 18億円、当期純利益 11億50百万円」の達成を目指します。

次期の配当につきましては、1株につき年間26円(中間、期末ともに13円)を予定しております。

## 戸建住宅事業

### ●建材及び関連商品販売、外壁工事

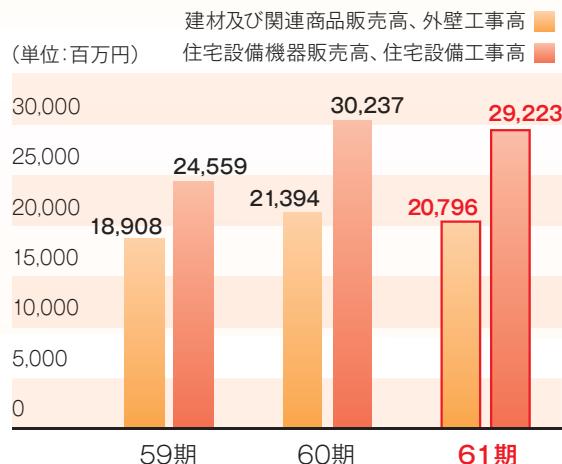
建材及び関連商品販売につきましては、オリジナルタイルブランド「マリスト」において、関東エリアでのシェア拡大や、その他大都市圏における営業活動の強化に努めてまいりました。しかし、消費増税による反動減の影響は大きく、タイル工事店向けの販売が減少した結果、売上高は前期比5.6%の減少となりました。

外壁工事につきましては、技能工の育成やサイディングのプレカット化に取り組みましたが、住宅外壁向けのタイル工事が前年並みに推移したことにより、売上高は前期比0.6%の減少となりました。

### ●住宅設備機器販売、住宅設備工事

住宅設備機器販売につきましては、既存の設備店やリフォーム店向けの販売は減少したものの、大口の太陽光発電システムの販売が寄与したことにより、売上高は前期比0.8%の増加となりました。

住宅設備工事につきましては、水回り商材と併せて木質建材やサッシなど、今まで当社にとって取扱いの少なかった商材の販売強化に努めるとともに、新規工務店開拓に取り組んだことにより、700件を超える新規取引を開始しました。しかし、市場環境は消費増税前の駆け込み需要までには至らず、売上高は前期比4.5%の減少となりました。



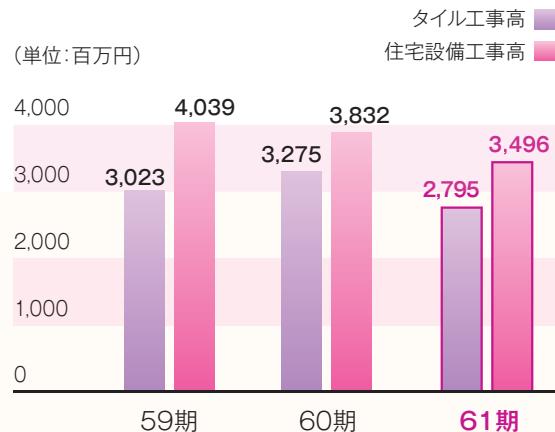
## 大型物件事業

### ●タイル工事

タイル工事につきましては、新築マンション物件を中心に、予定の受注量および利益率の確保はできたものの、翌期以降に完成する物件が前年を上回ったため、売上高は前期比14.6%の減少となりました。

### ●住宅設備工事

住宅設備工事につきましては、官公庁向け空調工事が順調に推移したものの、新築マンション向けユニットバス工事において採算重視の受注体制を継続したことにより、売上高は前期比8.8%の減少となりました。



## 「外壁資材センター」設立

2015年6月1日、埼玉県川口市に『外壁資材センター』を開設いたしました。この外壁資材センター内においてサイディング（外装材）を事前に加工しておく「プレカット加工」を行うことで、現場での施工総人数の削減や施工期間の短縮を見込み、昨今の職人不足に関わる諸問題にも対応できると考えております。

また、外壁資材センター内で加工を行うため、現場において発生する騒音や粉じん、産業廃棄物を削減することが可能となり、廃材処分費の削減にも寄与することができます。

今後も現場での作業量を可能な限り減らすため、外壁資材センターを有効活用してまいります。



外壁資材センター外観

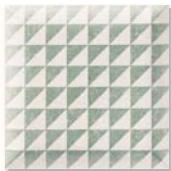


## サッシ事業への取り組みについて

当社では、顧客層を地場ゼネコンや工務店、リフォーム店などのサブユーザーにシフトしてきた過程において、事業環境と多様なニーズに呼応するかたちで商材の幅を拡げてまいりました。そのなかでも、住宅用サッシについてはごく限られた一部の顧客へ対してのみの販売にとどまっておりましたが、メーカーの再編を背景にサッシの流通形態の変化が進むなか、当社に対する取扱いの要望が増加してまいりました。

このような状況下において、数年前よりサッシ・玄関ドアを中心とするアルミ商材を重点商材として捉え、商品および施工関連知識の習得を進めてまいりましたが、事業の更なる拡大をはかるため、2015年秋にサッシ専門工事会社である東京サッシ販売株式会社及び株式会社ライフメタリックを当社の傘下に迎えました。

今後もサッシ事業への積極的な取り組みとともに、総合的な商品の提供を実現できるよう努力してまいります。



東京サッシ販売(株) 外観

**資産**

現金及び預金が5億73百万円増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が5億1百万円、未成工事支出金が1億34百万円、未収入金が2億91百万円減少したことにより、3億92百万円減少し、285億5百万円となりました。

**負債**

未払法人税等が7億49百万円、ファクタリング未払金が3億8百万円減少したことにより、13億34百万円減少し、121億69百万円となりました。

**連結貸借対照表**

(単位:百万円)

科目	第60期	第61期
<b>資産の部</b>	28,897	28,505
流動資産	21,658	21,254
固定資産	7,239	7,250
有形固定資産	5,902	5,760
無形固定資産	83	88
投資その他の資産	1,253	1,401
<b>資産合計</b>	28,897	28,505

科目	第60期	第61期
<b>負債の部</b>	13,503	12,169
流動負債	12,232	10,823
固定負債	1,271	1,345
<b>純資産の部</b>	15,394	16,336
株主資本	15,199	16,103
その他の包括利益累計額	195	233
<b>負債・純資産合計</b>	28,897	28,505

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第60期	第61期
売上高	58,740	56,311
売上原価	50,305	48,440
売上総利益	8,434	7,871
販売費及び一般管理費	6,537	6,275
営業利益	1,896	1,595
営業外収益	260	280
営業外費用	108	84
経常利益	2,048	1,791
特別利益	47	29
特別損失	24	34
税金等調整前当期純利益	2,070	1,786
法人税、住民税及び事業税	925	576
法人税等調整額	△ 18	88
少数株主損益調整前当期純利益	1,164	1,121
当期純利益	1,164	1,121

## 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	第60期	第61期
少数株主損益調整前当期純利益	1,164	1,121
その他の包括利益合計	56	38
包括利益	1,220	1,159
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,220	1,159
少数株主に係る包括利益	-	-

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第60期	第61期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,365	1,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 74	△ 72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 784	△ 401
現金及び現金同等物の増減額	506	573
現金及び現金同等物の期首残高	6,691	7,198
現金及び現金同等物の期末残高	7,198	7,771

## 期末配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営方針のひとつとして位置づけ、業績に応じ可能な限り安定的な配当の継続を基本方針としております。

期末配当金については下記のとおり決定いたしました。

期末配当金：1株につき金15円00銭

期末配当の効力発生日ならびに支払開始日：2015年12月18日(金)

## 会社概要

社名	株式会社アイナボホールディングス
代表者名	阿部 一成
創業	大正13年3月
設立	昭和30年3月
本社所在地	東京都足立区鹿浜3丁目3番3号
資本金	896百万円
事業内容	タイル・住宅機器・衛生設備機器・ 空調機器・太陽光発電システム・ 管材・輸入石材の卸販売及び 設計施工・工事請負
関連会社	株式会社アベルコ 温調技研株式会社 株式会社インテルグロー AVELCO VIETNAM Co.,Ltd.
連結売上高	56,311百万円 (2015年9月期)
連結社員数	731名
取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社東京都民銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行

## 役員 (2014年12月17日現在)

代表取締役	阿部 一成
専務取締役	岡本 孝一
常務取締役	鋤柄 禎彰
取締役	藤沼 哲朗
常勤監査役	加藤 和久
監査役	西尾 哲男
監査役	田口 明

(注) 取締役 藤沼哲朗は、社外取締役であります。

## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
マルティス株式会社	1,116,000	9.65
株式会社アベタ	595,000	5.14
ホールセール株式会社	595,000	5.14
株式会社タクルコ	484,300	4.19
アイナボホールディングス従業員持株会	473,890	4.10
株式会社マユルコ	440,300	3.81
UBS AG LONDON A/C IPB SE GREGATED CLIENT ACCOUNT	389,100	3.36
阿部一成	337,505	2.92
阿部哲二	306,693	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	285,000	2.46

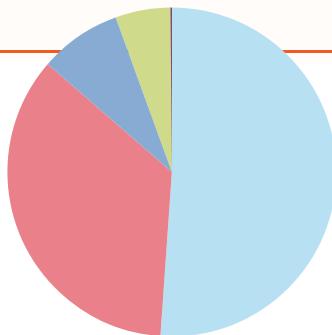
(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株式の状況

発行可能株式総数	27,000,000株
発行済株式の総数	11,647,820株
株主数	2,266名
単元株式数	100株

## 所有者別分布状況

■ 証券会社	0.19%
■ 金融機関	5.56%
■ 外国法人等	8.07%
■ その他法人	35.22%
■ 個人その他	50.97%



## IR情報

IR情報は、当社ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ainavo.co.jp>

掲載写真はホームページ内カタログにてご覧になれます。



事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	<ul style="list-style-type: none"><li>● 定時株主総会 …… 毎年9月30日</li><li>● 期末配当金 ……… 毎年9月30日</li><li>● 中間配当金 ……… 毎年3月31日</li></ul> <p>● そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日</p>

#### 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

#### 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

#### 株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**電話照会先** ☎ **0120-782-031**

**インターネットホームページURL** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

#### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

#### 公告の方法

当社のホームページに掲載します <http://www.ainavo.co.jp>

#### 上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)



株式会社アイナボホールディングス  
AINAVO HOLDINGS Co.,Ltd.

本社: 〒123-8509 東京都足立区鹿浜3-3-3 TEL.03-4570-1316(代) <http://www.ainavo.co.jp>

